

NPO 法人サイエンス・ステーションと松江北高校の主催で、サイエンスカフェ in 松江を松江市市民活動センター(松江スティックビル)にて開催しました。

自然科学を研究する大学生、大学院生の講演を聴いたり、理数科2年生が課題研究中間発表をしたりしました。

島根大学生物資源科学部の山本達之教授をはじめ、例年より多くの保護者の方や一般の方にも参観していただきました。山本教授からは、「大学2年生でやるような内容をよく頑張っている」「誤差をなくすために、水を加熱して気体にするので溶けているCO₂が出てくるのではないか」「実験時の水温は一定にしたか」とご助言やご質問をいただきました。また、大学生、大学院生からも「1つ1つの言葉の説明もあり、わかりやすかった」「なぜ、その材料にしようと思ったのか」などと質問や意見をいただき、活発な質疑応答の時間となりました。2月の最終発表会に向けて、研究意欲を高めることができた充実した時間になりました。

サイエンス・ステーションの皆様、ご参観いただきました皆さま、どうもありがとうございました。

講演①「岩石・鉱物から見える世界」

妹尾梨子 東京大学 理学部地球惑星物理学科

②「X線天文学のすゝめ」

米村優輝 中央大学 理工学部物理学科

理数科2年発表

物理1班「ボールを水に落とした音の出方」

化学1班「二酸化炭素の発生量の計測 ～入浴剤の研究～」

化学2班「時計反応」

生物1班「プラナリアの好物とその食いつき」

数学 班「直方体のサイコロと確率」

物理2班「筒の中の煙が上昇する高さは何によって決まるか」

化学3班「電流による中和点の測定」

生物2班「根粒菌と植物の共生 ～僕らの根粒菌戦争～」

